

## サーモス、日本サッカー協会と JFA ソーシャルバリューパートナー契約を締結 気候変動に対応した持続可能な競技環境づくりと選手のパフォーマンス向上を目的とした取り組み

魔法びんのグローバル企業として、人と社会に快適で環境にもやさしいライフスタイルを提案するサーモス株式会社（本社：東京都港区 社長：片岡 有二）は、公益財団法人日本サッカー協会（本社：東京都文京区 会長：宮本 恒靖 以下、JFA）と JFA ソーシャルバリューパートナー契約を締結しました。



本パートナーシップは、当社が長年培ってきた真空断熱技術や熱中症対策・水分補給への知見と、JFA が蓄積してきたサッカー活動における医科学的データ・実証的データや課題などと結びつけることで、暑熱・寒冷環境下におけるサッカー活動の実態を医科学的に分析・把握し、気候の影響を受けにくい競技環境づくりや選手のパフォーマンス向上につなげることを目的としています。そこから得られる暑熱・寒冷対策の知見は常にアップデートし、サッカー環境の充実とサッカーのさらなる発展に生かします。

2025年夏の日本の平均気温は、これまでの記録を大幅に上回り、気象庁による統計開始（1898年）以降で最も高くなりました（※）。こうした近年の温暖化に伴う気候変動の影響により、スポーツを取り巻く環境は大きく変化し、スポーツ現場における熱中症リスクも高まっています。こうした状況を踏まえ、本パートナーシップを通じて、選手や指導者らサッカーファミリーの誰もが、安全かつ最高のパフォーマンスを発揮できる持続可能なスポーツ環境づくりを目指していきます。

（※）気象庁：[2025年の梅雨入り・明け及び夏（6～8月）の記録的高温について](#)



### 【JFA ソーシャルバリューパートナー契約概要】

**契約社名：**サーモス株式会社

（事業内容：ステンレス製魔法びん、真空保温調理器等を中心とした家庭用品および家電製品の製造・販売）

**目的：**サッカー活動における暑熱・寒冷対策の実態調査やモニタリングで得られた知見を基に、暑さや寒さの影響を受けにくい競技環境づくりやプレーヤーのパフォーマンス維持・向上に生かす。

#### ■公益財団法人日本サッカー協会 会長 宮本 恒靖氏

サーモス株式会社とのパートナーシップを締結できたことを、大変心強く感じています。

私自身、サーモスの取り組みに触れ、温度管理がスポーツ現場の安全性やパフォーマンスに大きく影響することを実感しました。近年、気候変動の影響により、暑熱・寒冷環境への対応は競技運営における大きな課題となっており、指導者や関わる大人たちが、正しい知識を身につけ実践していくことが、これまで以上に強く求められています。JFA では「アスパス！」に掲げる 5 つの重要課題の一つ、「環境」にも正面から向き合っています。本パートナーシップを通じて、専門的な知見とサッカー現場を結びつけ、選手らのパフォーマンスを維持・向上させるとともに、持続可能な競技環境づくりを広げていきたいと考えています。

#### ■サーモス株式会社 代表取締役社長 片岡 有二

このたび、公益財団法人日本サッカー協会と JFA ソーシャルバリューパートナー契約を締結できたことを大変光栄に思います。

これまでサーモス株式会社は、真空断熱技術や水分補給に関する知見を通じて、熱中症対策を提案してまいりました。しかし、昨今の記録的な酷暑を受け、スポーツ現場とのコミュニケーションを通じた新たな試みが必要だと考えています。特に、本パートナーシップの対象である現在のサッカーシーンにおける重要課題の一つである「酷暑対策」を価値共創活動の軸に据え、JFA との協力を通じて、その課題解決に向けた取り組みを行ってまいります。

#### 公益財団法人日本サッカー協会（JFA）

日本サッカー協会は、日本サッカー界を統括・代表する団体として、サッカーを通じた豊かなスポーツ文化の創造を推進するとともに、人々の心身の健全な発達および社会の発展への貢献を目的としています。

<https://www.jfa.jp/>

